

【佐世保若者サポートステーション】

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況

取組年度	令和4年度	
支援対象者	(2) 長期にわたり無業の状態にある方	
目標	就業を希望しながら、様々な事情により求職活動をしていない長期無業の状態にある方については、働くことや社会参加を促す中で本人に合った形で支援を行う必要があることから、地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。）を中心に関係機関が連携し、職業的自立支援につなげることを目標とする。	
	KPI項目	目標値
	サポステの支援により就労等につながった割合	35%
	サポステレベルが上がった方のレベル数	300レベル

【令和4年度取組状況等】

<令和4年度取組状況>

佐世保サポステは、広域に及ぶ県北地域の支援をカバーできるよう巡回相談に力を入れてきた。佐世保からは直接支援が難しい壱岐・対馬地区には現地に在駐スタッフを設置し、オンライン面談を設けることで相談しやすい体制づくりを行ってきた。長期にわたり無業状態の方の支援は大変困難だが、巡回相談を行うことにより佐世保サポステの事務所への来所が難しい当事者の方・保護者の方にとっても来所のハードルを低くし、さらなる相談体制の強化につながっている。そしてハローワークや市役所などの関係機関、地元の県立高校との連携を働きかけている状況である。

また、他者とのコミュニケーションが困難なため、グループワークに対して苦手意識が強い当事者の方にも参加を促しやすいプログラムを実施するとともに、就労後すぐに実践し役立てることができる実践的グループワーク（電話対応やビジネスメール作成など）を行っている。無業状態が続き、体力低下が見られる方に対し特に有効なウォーキングなどの体力づくりプログラムを定期的実施している。

就職氷河期世代の方は転職が多く、自分の適職を見つけられないまま過ごしてきた方もしばしば見られる。そこで適職診断（GATBやキャリアインサイト）を導入し、自身の適性を見つめ直す機会を提供している。

さらに職種や職場環境のミスマッチによる早期退職を防ぐため、職場体験の実施も積極的に行い、定着支援も同時に行えるようなプログラム構築に取り組んできた。

令和4年度になり地域の広報誌などへの掲載で広報活動を強化したところ、就職氷河期世代の方の新規登録者数が前年度より増えている。

<巡回相談実施回数>

・江迎町 10回 ・生月町 10回 ・波佐見町 3回 ・川棚町 5回 ・東彼杵町 4回 ・平戸市中部 10回
 ・西海市大島町 7回 ・西海市西彼町 8回 ・西海市大瀬戸町 3回
 ・壱岐 20回 ・対馬 20回

KPI項目	実績累計	進捗率
サポステの支援により就労等につながった割合	29.6%	84.6%
サポステレベルが上がった方のレベル数	92レベル	30.7%

令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
31.0%	31.0%	27.5%
25レベル	37レベル	30レベル

※令和4年度の実績については、長崎・佐世保若者サポートステーションの1月末時点の合計実績になります。